

2018 全国チャレンジ KIDS トライアスロン大会参加のご案内

大会に出場するみなさん、保護者のみなさまへ

この度は、『全国チャレンジ KIDS トライアスロン大会』へのご参加、誠にありがとうございます。

安全で楽しい大会になるようにスタッフ一同準備をしております。

以下の注意事項等をお子様と一緒に読んで頂き、十分ご理解した上で会場へお越し頂くよう、お願い申し上げます。特記事項がないものは一般チャレンジ部門出場の選手も同様ですのでご理解の上ご参加下さい。

1. 本封書の内容物

- 大会参加のご案内
- コース図
- ナンバーシール 2 枚(ヘルメット用1枚、バイク(自転車)用1枚) 今回もレースナンバー(ゼッケン)の配布はありません。
- 写真等撮影許可リストバンド 3 本 *油性マジックで撮影対象者(選手)のレース No.を必ず書いて当日ご持参ください。リストバンドを付けていない方の撮影はお断り致します。
- 選手への応援メッセージ記入用紙
- 大会アンケート(大会終了後大会本部までご提出ください。必須ではありません)
- 川越水上公園へのアクセス方法(裏面:駐車場への入り方)

重要ポイント1
『持ってくるもの』

2. 大会当日持参する物(忘れるとレースに参加できません。)

- 水着
- 保険証(写しでも可。提出は不要です)
- 自転車 (ロードバイクでも、通常街中で乗っている自転車でもどちらでも結構です)
- 自転車用ヘルメット(貸し出しは一切ありません)

ナンバーシールを
ヘルメットとバイクに貼る

アイスホッケーやスケートボード用などのプラスチック構造だけの簡易なものではなく、自転車用のものに限りです。近くの大手玩具店やホームセンター等でも 2000 円程度から販売されています。

ご注意頂きたいのは、『あご紐』の形状です。首にかけずにカップ形状の『顎あて』であごの先端で紐を支えるタイプや、紐が伸縮性のあるゴム状のものがローラースケート用などで発売されています。この形状のものは転倒したときに外れやすい(簡単に脱げて取れてしまう)のでトライアスロン大会では使用出来ません。

- 自転車及びランニング用シューズ
- 『レースナンバーの印字されたTシャツ』大会受付時(前日若しくは当日)にお渡しするものをご使用下さい。レースナンバーの印字されたTシャツは、自転車(バイク)競技とランニング競技中に必ず着用すること。
- 『スイムキャップ』大会受付時(前日若しくは当日)にお渡しするものをご使用下さい。

3. 大会当日あれば便利なもの

- スイムゴーグル(但しガラス製のもの使用禁止)
- バスタオル
- 帽子(暑くなりそうな時はかぶって走ったほうが良いですよ)
- 足拭き用タオル(目印となるような派手なものは避け無地を推奨、会場のプールサイドは砂が出やすくなっていますので、トランジションエリア(自転車やシューズを置いておく所)に用意する事をお勧めします。)

4. 大会受付

4.1 受付・受付時チェックに必要なもの(持ってこないとう受付できません)

- ・ ナンバーシールを貼った『自転車用ヘルメット』 あご紐が「ゆるゆる」(指2本入る程度が目安)にならないように調整してかぶってきてください。受付エリアに入る前に審判員がヘルメットの形状やあご紐の緩みなどをチェックします。

■ ナンバーシールの貼付位置:①ヘルメットの正面真ん中。②バイク左側サドル下のフレーム、に1枚づつ

■ 前日受付を済ませた方は、大会当日朝はボディナンバリングをしてもらいだけです。

4.2 受付でお渡しするもの(欠席の選手に後日参加賞等の発送は致しませんのでご了承ください。ご家族、ご友人の方等の代理受領は認めます。)

重要ポイント2
『受付でやること』

- ・ レースナンバー(印字)付きのシャツ(自転車及びランニング競技中は必ず着用して下さい。)
- ・ スイムキャップ(スイム競技中は必ず着用して下さい。)
- ・ プログラム、協賛商品等

4.3 ボディナンバリング(当日会場で両腕、両足にレースナンバーを記入)をしてもらってください。

以上で受付完了！準備 OK！

■ 応援メッセージは受付でお預かりします。

■ レンタル自転車を事前に申込された方は、受付場所隣にレンタル自転車の受付があります。

前日7日と当日8日の両日利用可でレンタル料金1台 1000 円(どちらか1日でも2日でも料金は変わりません)。料金は受付でお支払い下さい。

重要ポイント3

『自分の距離と周回数』

5. 競技コース(添付のコース図を良く見て間違わないようにネ！)

チャレンジコース

種目	スイム	バイク	ラン	種目	スイム	バイク	ラン
ブロンズ	50m	1 周、2. 6km	970m	シルバー	100m	2周、4.4km	970m
ゴールド	150m	3周、6. 4km	1250m	プラチナ	200m	4周、8.3km	1250m

快速コース

種目	スイム	バイク	ラン	種目	スイム	バイク	ラン
小学1～2年生	100m	2周、4. 2km	970m	小学3～4年生	150m	3周、6.1km	1250m
小学5～6年生	200m	4周、8. 0km	1850m	中学生	250m	5周、10.0km	2750m

一般チャレンジ部門

種目	スイム	バイク	ラン
全員	100m	2周、4. 2km	970m

レースに初参加の方もここで基本的なことを教えてもらえますよ！どちらか好きな時間でどうぞ(予約不要)。受付だけでも OK！
一般チャレンジ部門の方もぜひご参加下さい。

試泳時間は
ご案内します。

6. 大会の予定タイムスケジュールと注意事項 ※大会前日・当日とも雨天決行

2018年7月7日(土)前日受付(希望者のみ)と

競技説明会(コース下見)と初級講習会(事前申込不要です。)

12:00～13:00 第1部受付 必ず選手本人が受付を行って下さい

13:15～14:45 説明会と講習会

13:00～14:45 第2部受付:(1部より空いています)。必ず選手本人が受付を行って下さい。

15:00～16:30 説明会と講習会

■ 大会当日の朝は受付が混雑しますので前日に済ませ、コースの下見や講習会、プール試泳をどうぞ。

■ 前日受付を済ませた方は自転車を翌日までトランジションエリアに置いておくことができます。

2017年7月8日(日)

8:00～9:00: 受付、必ず選手本人が受付を行って下さい(保護者は受け付けエリアには入れません。)受付後、

- ① 自転車コースを必ず試走してカーブや路面の状態などをよく確認して下さい。
(公園内では選手だけでなく、付き添いで自転車に乗る大人の方も必ずヘルメット装着して下さい。)
- ② 試走コース中、周回確認用の輪ゴムの受取りを希望する人(自分で周回数がわかれば取らなくても OK)は、係員が輪ゴムの渡し方を教えます。
- ③ 試走が終わったら、自転車をトランジションエリアにセットして下さい。
- ④ この時に保護者が場所や手順を教えたり、自転車セットの手助けをしてあげて結構です。但しレースの時は手助けはできません。

トランジションエリアにセットするもの: 自転車、ヘルメット、受付で受け取ったシャツ、シューズ、帽子、タオル、水分補給する為のものなど必要最小限。(トランジションエリアには競技に直接関係のない用具を持ち込ん

だり、風船などで目印をつけたりすることはできません。)自分の自転車の位置を良く覚えておきましょう。

- ⑤ レースが始まるとトランジションエリアには準備目的では入れなくなります。
各自の集合時間前までにトランジションエリアの準備を終えましょう。
- ⑥ 受付以降のスケジュール(予定です。タイムスケジュールは若干変更になることがあります。)

重要ポイント4

『スタート時間』と
『集合時間』

9:15 開会式

10:05 チャレンジ ブロンズ スタート。(9:50 集合)

10:25 チャレンジ シルバー スタート。(10:10 集合)

10:55 チャレンジ ゴールド スタート。(10:40 集合)

11:05 チャレンジ プラチナ スタート。(10:50 集合)

チャレンジコースのトランジションエリアは 11:30～開放(予定)

11:20 快速小4年生男子 スタート。(11:00 集合)

11:30 快速小3年生男子 スタート。(11:00 集合)

11:40 快速小3・4年生女子 スタート。(11:20 集合)

12:10 快速小1・2年生 スタート。(11:50 集合)

快速コース1～4年生のトランジションエリアは 12:35～開放(予定)

12:35 快速小5・6年生男子 スタート。(12:20 集合)

12:40 快速小5・6年生女子 スタート。(12:20 集合)

快速コース5～6年生のトランジションエリアは 13:20～開放(予定)

13:15 快速中学生女子 スタート。(12:55 集合)

13:20 快速中学生男子 スタート。(12:55 集合)

14:00 一般チャレンジ部門スタート。(13:45 集合)

快速コース中学生・一般チャレンジのトランジションエリアは 14:20～開放(予定)

14:20 競技終了

14:35 表彰式・閉会式(表彰式欠席の入賞者への後日商品等の発送は致しません。ご家族、ご友人の方等の代理受領は認めます。)なお、上記タイムスケジュールは若干変更になることがあります。ご了承下さい。

※ レースを終了した選手の自転車などのピックアップは上記の通り、カテゴリー(種目・学年)によって異なります。また、レースの進捗によって変更になることもありますので場内アナウンスをよくお聞きになり係員の指示に従ってください。この時間帯以外のピックアップは原則的にできませんので予めご了承ください。

7. 周回チェック方法

本大会では、バイク及びランにおいて通過チェックを行います。以下の方法で行いますので、保護者の方は充分ご理解の上、参加者と共に方法をご確認下さい。

- ・ 周回数カウントは原則として選手本人が行うこととします。(審判員などのスタッフが、『あと何周だよ』とか『もう終わりだよ』と言ったり、進行方向を指示したりする事はしません。又競技進行中に選手全員の正確な周回数を把握する事は出来ないからです)
- ・ (共通)周回数を忘れてしまうかもしれない、と思う選手は周回確認用の輪ゴムを係員からもらってください。(バイクでは、必要がないと思う選手は輪ゴムを受け取らなくて結構です)よって各選手の周回数を、競技中にわかっているのは選手本人のみです。

バイクでは、

- ・ (共通)1周毎に選手本人のカウントを助ける目的で確認用の輪ゴムを渡します。又、分岐点(周回とフィニッシュ)に風船を設置予定。輪ゴムを貰うことを希望する選手は コース上の係員が広げた輪ゴムに握りこぶしを入れてください。(左右どちらの手でも可)又、輪ゴムを貰わない選手は風船を各周回分見てフィニッシュとなります。依って選手自身で周回を確認する方法は、

チャレンジコースのブロンズは1周なのでありません。

シルバーは輪ゴム2個又は風船を2回見る(2周)、

ゴールドは輪ゴム3個又は風船を3回見る(3周)、

プラチナは4個又は風船を4回見る(4周)、
快速コースの小学1・2年生は輪ゴム2個又は風船を2回見る(2周)、
小学3・4年生は輪ゴム3個又は風船を3回見る(3周)、
小学5・6年生は輪ゴム4個又は風船を4回見る(4周)、
中学生は輪ゴム5個又は風船を5回見る(5周)、

一般チャレンジは輪ゴム2個又は風船を2回見る(2周)となります。

・(快速コースのみ)1周する毎に周回読み取り機器で記録し、後で集計することにより確定します。

ランでは、

- ・コースの途中でバイクとは異なる色の輪ゴムを渡します。快速コースの小学5・6年生は2個(2周)中学生は3個(3周)もらったら、フィニッシュに向かって下さい。チャレンジコース全員と快速コースの1・2年生及び3・4年生、一般チャレンジ部門は1周なのでありません。

・周回等に関して保護者の方にご理解いただきたいこと。

- ① 明らかに周回不足と判断される場合は残念ながら完走の扱いには致しかねますのでご了承下さい。
- ② 周回数が規定数以上の場合(多く周回してしまった場合)でも順位の繰り上げ措置はできません。
- ③ 立ち入り禁止区域に立ち入り、お子さんに声をかけることのないようにお願いします。
- ④ 競技係員が分岐点で「フィニッシュしてもよい」と言ったり誘導したりすることはいたしません。
- ⑤ 周回不足は全て自己責任となります。周回数が不足しているにもかかわらず、他の選手に追従してフィニッシュしてしまう選手が時々見られます。お子様が自主的に周回数を数えて他選手に影響されることのないようよく言い聞かせて下さい。

7. 計時方法についてー快速コース、一般チャレンジ部門のみ

本大会は、選手の足首に巻いたセンサー(アンクルバンド)がフィニッシュ地点などの床に敷いたセンサー上を通過するタイミングで計時します。又、競技の途中で棄権する場合は、係員にアンクルバンドを渡して下さい。

一般チャレンジ部門は『タイムの計測は行いますが、表彰はありません』
 チャレンジコース(小・中学生)は『タイムの計測も、表彰もありません』
 快速コース(小・中学生)は『タイムの計測も、表彰(各学年別・男女別・1～3位)も行います。』

8. その他、保護者の皆さんへのお願い

- ① 体調に充分ご配慮下さい。この季節は湿度が高いため、さほど外気温が高くなくても熱射病等の事故が起こる可能性が最も高くなっています。無理をさせずに各自のペースを守らせるようにお願いします。又、完走したら、ぜひ誉めてあげて下さい。
- ② バイクを十分点検、整備してご来場下さい。以下の点を確認して下さい。
 - ブレーキの利きは充分か。
 - 前後左右に不要な突起物はないか。(転倒/衝突時、自分/相手にけがをさせる)
 - ハブ(車輪の中心軸)のボルトに緩みはないか。
 - ハンドルバーに緩みはないか
 - クランク軸(ボトムブラケット)部分ががたつきはないか
 - タイヤに空気が十分に入っているか
- ③ 選手への個人的援助は禁止されています。従って、例えばレース中飲食物を差し入れることはもちろんのこと、声援と共に順位や秒数を教えるなどといった行為や、伴走行為は、他の競技者との公平性、安全性の観点からご遠慮下さい。目に余る行為に対しては、残念ながら選手が失格となる場合もあります。
- ④ 競技中のお子様熱中する余り、怒鳴ったり叱ったりしてしまう方がおられます。他の応援者のご迷惑とならないよう、十分ご配慮下さい。
- ⑤ トランジションエリアでの注意:
トランジションエリアへの自転車を置く時は、バイクラックのバーのレースナンバー(番号)が貼ってある方向に前輪がくるようにセットして下さい。自立スタンドがついた自転車は自立させ、これが無い自転車は後輪を揚げてサドルをバイクラックにかけて下さい。高すぎる場合は手ごろな長さの紐(ビニール紐等白色のみ)をあらかじめ各自がご用意下さい。

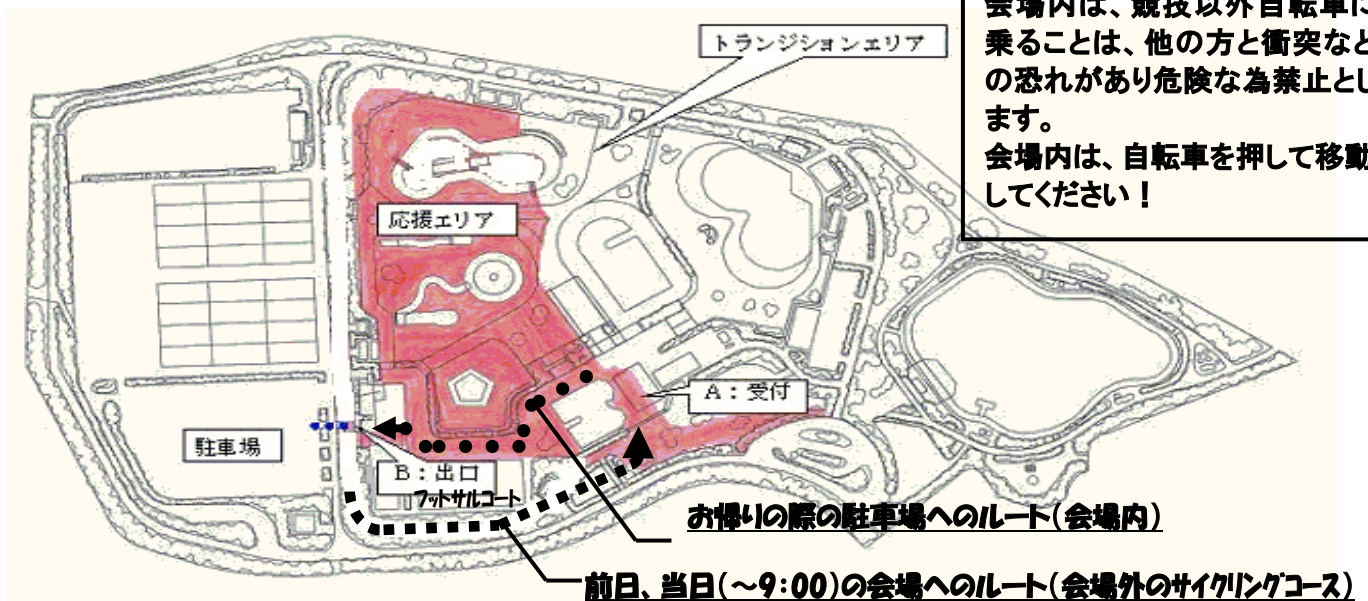
この紐で輪をつくり、輪の一方をバーに、もう一方を自転車のサドルに掛けて紐の長さを調整すれば、自立スタンドのない自転車でもうまくセットできます。お子様には、エリア全体の配置と、自分の自転車の位置を客観的に理解できるようシミュレーションをしてあげてください。

- ⑥ 自転車で選手が転倒し、後続の選手の安全を脅かすような場合は、一刻も早くコースをクリアにする必要がありますが、運営の係員が近くにいない場合、近くでご観戦の皆さんが、安全優先の為に自主的に援助行動をとって頂けると大変助かります。前述の選手への個人的援助の禁止には当たりませんのでご協力をお願いします。
- ⑦ 会場内は屋内外を問わず、全て禁煙とさせていただきます。子供たちの快適なレース環境づくりにご協力下さい。また、ごみはお持ち帰りいただきますようご協力をお願いします。
- ⑧ 選手の応援・紹介メッセージの記入用紙を同封しました。このメッセージカードをもとに選手の紹介や応援メッセージをアナウンスします。記入用紙は本部に回収箱を設けますので、開会式前までにご提出下さい。
- ⑨ 保護者や応援の方で写真・ビデオの撮影をする方は、必ず同封したリストバンドにお子様(撮影対象者)のレースナンバーを油性マジックで記入し手首に着けて下さい。付けていない方には係員が撮影を停止させていただきます。リストバンドは、当日の配布は致しません。競技に関係のない人が赤外線カメラを使って選手の水着姿の盗撮をしている可能性があります。挙動不審な人がいた場合速やかに本部までお知らせ下さい。
- ⑩ お車でお越しの方は、一般車両と区別をする為に来場の際、公園入口にて参加案内の封筒などを提示して下さい。
- ⑪ 会場は立ち入り許可範囲以外の場所には立ち入りできません。雨天時は脱衣棟を雨よけにご利用下さい。
- ⑫ ランニングコース・バイクコースは基本的に全て横断禁止と致します。駐車場へ行く時やコース周辺を通行する際は係員の指示に従い選手の通行に十分注意して下さい。
- ⑬ 一般チャレンジ部門に出場の方は、お怪我などされないように普段のご自分の体力と練習量を考慮され無理のない範囲でトライアスロンを楽しんで頂きますようお願い申し上げます。

以上

ご注意①!

会場内は、競技以外自転車に乗ることは、他の方と衝突などの恐れがあり危険な為禁止とします。
会場内は、自転車を押して移動してください!



- ・ Aが受付になります。受付後トランジションエリアへ自転車を移動してください。
- ・ 駐車場以外での荷物の積み下ろしはできません。
- ・ 黒い網かけ部分が保護者が立ち入って良いところです。(ただし流水プール周辺、橋、流水プール中の島は、スタート時はスタート地点周辺への立ち入りはできません)
- ・ 係員の指示により、駐車場への横断を許可する通路。

ご注意②！

- ・前日、当日(～午前9:00)の会場への出入りは受付A側の正面入口からとなります。
(上図中四角い点線のルート)
- ・B: 出口は、当日(午前9:00以降)開放となります。
- ・B: 出口と駐車場は、決められた場所を注意して横断してください。
- ・ご自分のお子さん以外の選手への安全のご配慮もお忘れなく！！
- ・本大会途中(競技終了後含む)でお帰りになられる場合は、必ず会場内のフットサルコート
の横を通過してB: 出口から出るようにお願いします。(前頁の丸い点線のルート)

競技ルール

日本トライアスロン連合競技規則／運営規則(ローカルルール)に準じて競技を行います。

1. 本大会において、安全は全てに優先します。
2. 本大会は他人と競い合うことよりも、自分への挑戦、体験を趣旨としています。遅い子も早い子と同様にその参加と記録は尊重されます。
3. 大会主催者は、天候、その他の競技条件の悪化により十分な安全が確保できないと判断した場合は、競技時刻・時間・競技距離・競技内容を、変更、或いは中止することがあります。
4. 大会役員は、選手の状態により競技続行が本人、或いは本人周辺の選手/観客に対し危険と判断した場合は、競技を中止させることができます。
5. 競技上の異議申立てはレース終了後30分以内に参加選手は口頭にて、参加選手以外は文書で大会本部(審判長)に申し出て下さい。
6. スイム、バイク、ラン、共通ルール
 - ・トライアスロン競技中は、一人で行うスポーツです。従って、第三者から選手への個人的援助は一切禁止します(危険防止、あるいは大会担当者によるエイドステーション等は除く)。
保護者や友人などが伴走したり、補給物を渡すことはお止め下さい。又、順位を教えて声援することも、状況によっては選手への重要な助力行為とみなされますので、お止め下さい。
 - ・競技中は係員の指示に従って下さい。
 - ・スポーツマンらしくフェアな態度で参加して下さい
 - ・レース中苦しくなったら休んでも構いません。但し他の選手のじゃまにならないようにして下さい。
・選手は必ずナンバーシールを決められた位置に付けて下さい(バイク(サドル左下)、ヘルメット(正面))
7. スイムルール
 - ・スイムコース中では本大会で支給されるスイムキャップをかぶってください。
 - ・ゴーグルを使用しても構いません。(但しガラス製のゴーグルは禁止)
 - ・レース中、コース内で立ち止まって休んでも構いません(水深約80cm)が、歩いてはいけません。
 - ・助けを求めるときは、泳ぐのをやめて、手を振って下さい。
8. バイクルール
 - ・レース中は、靴と配布されたシャツを必ず着て下さい。(靴下は、履いても履かなくても構いません。)
 - ・レース中はもちろん、レース以外でもバイクに乗る時は必ずヘルメットをかぶってください。
ヘルメットは、スイム後、トランジションエリアでバイクを動かす前に必ずかぶり、バイク終了後、バイクをトランジションエリアの自分の番号のところに置いてからヘルメットをはずして下さい。
 - ・ヘルメットの紐は、あごにぴったりとなるように正しい位置に調整して下さい。
 - ・トランジションエリアの中ではバイクに乗ってはいけません。バイクは押して下さい。
 - ・小学生及び中学生の、DHバー(エアロバー)の装着は禁止。
 - ・バイクは、コースの左側を走行してください。追い越すときは右側から、「右、抜きます」と大きな声で合図して下さい。
 - ・危険な走行、他選手の追い越しのじゃまをすることは禁止します。
 - ・バイクの故障は原則として自分で直さなければなりません。バイクを押して歩くことは構いませんが、他の選手のじゃまにならないよう気を付けて下さい。
 - ・バイク終了後は、バイクをトランジションエリアの所定の位置に置いて下さい。

- ・コース右側の追い越しスペースを意識しながら、「キープレフト(左側走行)」(左端から1m、コース幅の左側3分の1以内を基準)で競技してください。
 - ・追い越しは、後方確認し、前走者の右側から行ってください、その際に一声掛けて追い越すと前走者が追い越されることを意識でき、接触の可能性が低くなります。
 - ・ドラフティング走行は禁止です。(ドラフティング走行とは、前走者や車の後ろを風よけにして楽に走ることです。)
 - ・ドラフトゾーンは、バイク前輪の最先部を起点に、後方7m、横幅3m(両サイド1.5m)の範囲です。
バイクは約2mですので、2台半分の車間距離をあけてください。
 - ・他競技者のドラフトゾーンに入れるのは、追い越そうとしているとき(15秒以内)、危険回避の場合、トランジション出入口などです。
 - ・追い越し中は追い抜く意志を持って「前進」している必要があります。そのためドラフトゾーン内では、前走の競技者と同一スピードを保ったままではいけません。また追い越されたら、すぐ抜き返したり背後に付いてはいけません。
9. ランルール

- ・レース中は、靴と配布されたTシャツを必ず着て下さい。(靴下は、履いても履かなくても構いません。)
- ・コース中通過チェック(周回チェック)を行うところがあります。必ずチェックを受けて下さい。
- ・熱中症(熱射病)を避けるためにできるだけエイドステーションで水分補給をして下さい。

元氣よく笑顔でフィニッシュしましょう。

以上

初級トライアスロン教室のご案内

- 実施日時:** 2018年7月7日(土曜日) 詳細スケジュールは下記ご参照ください。
- 場所:** 川越水上公園特設会場
- 対象:** 翌日のレースに出場予定のトライアスロン未経験者、あるいは初心者、学年、性別を問いません。
なお、参加希望者の技術・経験レベルに応じて、取出し授業等を行うことを想定しています。
- 目標**
- ① 競技の基本的なルールを知ること、
 - ② 競技で必要なテクニック(主として安全走行と危険回避術)を身に着けること、
 - ③ 翌日のレースを完走できるように、コースを熟知すること。
- 講師、運営協力** 埼玉県トライアスロン連合所属、JTU(日本トライアスロン連合)公認指導員、公認審判員。
- 講習内容:**
1. 教室の趣旨/目標/進め方説明(約5分)
 2. トライアスロンのルール(約40分)
 - 共通ルール
 - スイム・バイク・ランの個別ルール
 - トランジションエリア設置方法とテクニック
 3. コース下見(約40分)
 - スイムコース バイクコース ランコース
- 実施時間:** 第1部 受付 12:00~13:00 講習 13:15~14:45
第2部 受付 13:00~14:45 講習 15:00~16:30
内容は第1部、第2部共に同じです。ご都合のよい方どちらかにご参加下さい。
※参加希望者は、自転車、および自転車用ヘルメットをご準備下さい。(自転車は会場に置いていくことができます。) スイムコースを試泳希望の方は水着、ゴーグルもご持参下さい。
- 申込み方法:** 特に事前申込は必要ありません。大会前日にご希望の時間帯に会場にお越しください。

全国チャレンジKIDSTライアスロン大会事務局

〒359-1112 埼玉県所沢市泉町 906-35

m-tel:090-7216-3528 FAX:04-2926-1831 pi7m-ktu@asahi-net.or.jp



自転車を置く時は、バイクラックのバーのレースナンバー(番号)が貼ってある方向に前輪がくるようにセットして下さい。

ヘルメットシール

